

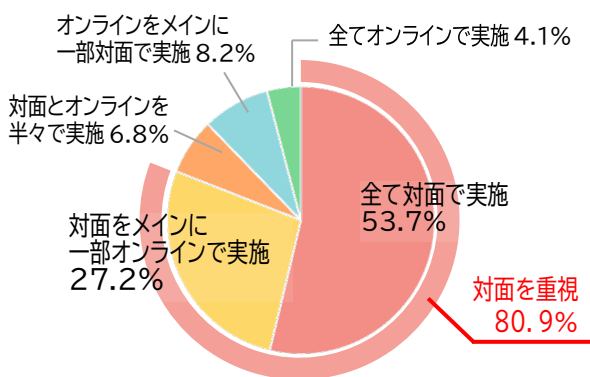
2021年度 新入社員教育に関するアンケート調査(Web)

調査対象	九州生産性本部 会員企業・労組のうち483社
調査期間	2021年6月8日～6月10日(3日間)
調査方法	各企業の代表メールアドレスへアンケートを依頼、Web上から回答(1組織、1回答)
回答数	182組織(回答率37.0%) ※前回調査時、回答率25.8%
調査項目	(1)2021年度 新入社員研修の実施について (2)新入社員研修の実施期間 (3)新入社員研修の実施方法 (4)対面研修とオンライン研修での「理解度」の差について (5)オンライン研修を実施して感じた課題について (6)コロナ禍の20年度・21年度に入社した人材の今後の育成・施策について (7)今年の新入社員教育を通じて感じた「新入社員」の印象について(自由記述)

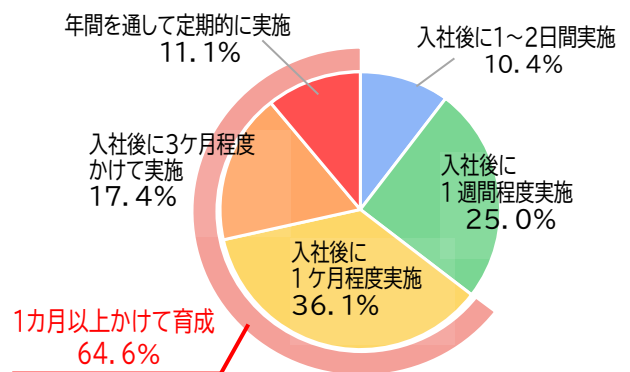
コロナ禍でオンライン研修が浸透している中でも、「新入社員研修」は約8割が「対面」を重視する結果に。困難な状況下であるにも関わらず、1ヵ月以上の期間をかけて育成に取り組む企業が6割以上。

※いずれも新入社員研修を実施した企業の回答

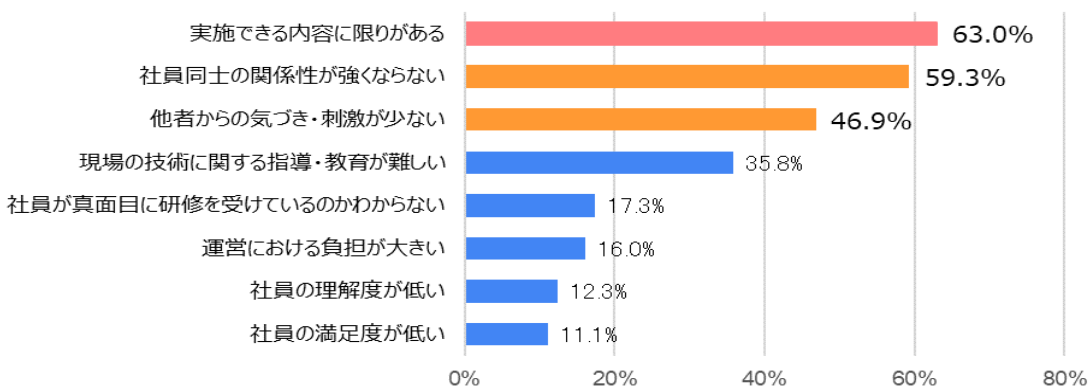
(1) 新入社員研修の実施方法



(2) 新入社員研修の実施期間



(3) オンライン研修を実施して感じた課題について (上位8項目抜粋)



オンライン研修の最大の課題は「内容に限りがある」こと。「社員同士の関係性が強くない」「気づき・刺激が少ない」という回答も多いことから、その対策として人事部門は対面での研修実施を重視したことがうかがえる。

今年の新入社員教育を通じて感じた「新入社員」の印象について尋ねたところ、一番多かったキーワードは「真面目」・「おとなしい」の2つ。「対面ではあまり意見を言わないが、アンケートなどの文書では色々と自分の意見を伝えてくる印象」、「オンライン慣れしていて社交性の有無がわかりにくい印象」などの特徴的なコメントもあった。

※その他の設問を含む、全調査結果に関しては、弊本部HPにて掲載いたします。

<本件に関するお問い合わせ先>

(公財)九州生産性本部 総務広報グループ TEL:092-771-6481 FAX:092-771-6490